

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	41500	生活環境保全事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
				項	1	保健衛生費		施策概要	3	公害対策の強化	
				目	5	生活環境費		根拠計画			
担当課	環境政策部	生活環境課	内線	2172							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な生活環境を確保する。 公害の発生防止、公害が発生した場合の被害の最小化。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視及び河川環境保全の重要性を啓発する。 騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査を随時実施する。 騒音の定期観測調査を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		3,990	2,943	5,990	5,990	3,801	858
特定財源	国費()						
	県費(県移譲事務交付金、公害委任事務費)	285	325	283	283	329	4
	その他()						
一般財源		3,705	2,618	5,707	5,707	3,472	854
個票枝番	主な事業内容						
	河川水質の定期調査	1,100	907	1,100	1,100	1,015	108
	土壌中放射性物質調査	700	650	700	700	739	89
	公害防止のための悪臭水質立入調査	770	272	770	770	140	△ 131
	快適環境づくり市民会議	480	229	480	480	214	△ 15
	ポイ捨て等路上喫煙禁止の啓発	600	609	600	600	147	△ 462
	自動車騒音常時監視及び面的評価(5年毎)			2,000	2,000	1,274	1,274

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)
5,326	3,980	3,980	△ 2,010
325	287	287	4
5,001	3,693	3,693	△ 2,014
査定額	説明		
1,100			
700			
770			
480			
600			
0			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施(64事案)と騒音の観測調査の実施(3か所) 水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視(19地点)及び河川環境保全の啓発 高山市快適環境づくり市民会議の活動推進(グリーンマーケット(1回)、クリーン作戦(2回)の実施)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切に対応する。 大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。 長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 騒音、振動、悪臭苦情に係る立ち入り検査の実施(46事案)と騒音の観測調査の実施した。(3か所) 自動車騒音面的評価及び騒音調査の実施した。(1回) 水質の汚濁を防止するため、河川水質の監視(19地点)及び河川環境保全の啓発を行った。 高山市快適環境づくり市民会議の活動を推進した。(グリーンマーケット(1回)、クリーン作戦(2回)の実施)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 公害防止に対する市民の意識向上のため啓発を行うとともに、公害苦情に対して関係機関と連携し、適切に対応する。 大気汚染及び水質汚濁防止啓発活動を強化する。 長期化している公害案件について、関係機関、地元、事業者と連携し、早期解決を図る。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 土壌中放射性物質調査の実施 高山市快適環境づくり市民会議による環境関連イベントの実施
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
市長査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	42200	ごみ収集事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
				項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正処理	
				目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画		
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市の分別ルールによって出されたごみなどを適正に収集運搬する。 ・家庭や事業所から排出されるごみの減量化を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方と分別意識の向上を啓発する。 ・ごみ処理券回収奨励金を交付し、ごみの減量化を図る。 ・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を適正に実施する。 ・不適正処理(不法投棄・違反ごみ等)対策を実施する。
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
家庭ごみ(資源ごみを除く)の1人1日当たりの排出量	476g	475g	467g
「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じている市民の割合	(H26) 89.1%	89.6%	↗

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		302,620	295,057	302,620	296,620	295,192	135
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(手数料・諸収入)	20,190	20,550	20,190	20,190	19,560	△ 990
一般財源		282,430	274,507	282,430	276,430	275,632	1,125
個票枝番	主な事業内容						
	ごみ収集運搬業務	284,570	278,016	284,570	278,570	278,021	5
	ごみ収集パトロール	5,700	4,914	5,700	5,700	5,320	406
	無料可燃ごみ処理券回収報奨金	2,400	2,396	2,400	2,400	2,398	2
	ごみ処理券・ごみカレンダー等の作成	9,950	9,731	9,950	9,950	9,453	△ 278

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	303,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)
300,219	302,620	302,620	0
20,170	20,190	20,190	0
280,049	282,430	282,430	0
査定額	説明		
284,570			
5,700			
2,400			
9,950			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方と分別の啓発(啓発用冊子3,000冊作成、広報11回掲載) ・ごみ処理券回収奨励金の交付(64件、333,759枚回収) ・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬実施(実施日数259日) ・ごみステーションに置かれた違反ごみの回収(随時) ・不法投棄対策の実施(パトロール延べ37日、通報による出動12件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化対策を強化する必要がある。 ・違反ごみや不法投棄は依然として発生しているため、不適正処理対策を継続して実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化に向けた具体的な対策(シール制状況調査、可燃ごみ分析等)を検討する。 ・委託事業者の収集時におけるパトロールの実施や不法投棄パトロールによる不適正処理の未然防止策を実施する。 ・広報などによりごみの不適正処理の防止やごみの分け方・出し方の啓発を行う。 ・人口減少や少子高齢化など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法を検討する。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの出し方と分別の啓発を行った。(啓発用冊子2,000冊作成、広報11回掲載) ・ごみ処理券回収奨励金を交付した。(62件、315,163枚回収) ・市内全域の可燃・不燃・資源ごみ・容器包装・粗大ごみ等の収集運搬を実施した。(実施日数259日) ・ごみステーションに置かれた違反ごみを回収した。(随時) ・不法投棄対策を実施した。(パトロール延べ57日、通報等による出動11件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別調査の結果、可燃ごみの中に資源ごみが多く混入していたこと等から、ごみの減量化対策を強化する必要がある。 ・違反ごみや不法投棄は依然として発生しているため、不適正処理対策を継続して実施する必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの減量化に向けた具体的な対策(シール制状況調査、可燃ごみ分析等)を検討する。 ・委託事業者の収集時におけるパトロールの実施や不法投棄パトロールによる不適正処理の未然防止策を実施する。 ・広報などによりごみの不適正処理の防止やごみの分け方・出し方の啓発を行う。 ・人口減少や少子高齢化など社会情勢や生活様式の変化に即したごみの分別や収集方法を検討する。

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく一般廃棄物処理実施計画を作成し、適正な収集運搬の実施
財務部 査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査
市長査定の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	42210	ごみ焼却処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
				項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正処理	
				目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画		
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ焼却処理を実施する。	概要	・ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を実施する。 ・焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を実施する。
----	---------------------	----	---

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		196,384	189,693	217,636	229,485	217,281	27,588
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(使用料・手数料等)	86,320	101,268	86,320	86,320	94,931	△ 6,337
一般財源		110,064	88,425	131,316	143,165	122,350	33,925
個票枝番	主な事業内容						
	資源リサイクルセンターごみ焼却施設の保守点検・整備	107,755	111,879	121,000	130,008	129,578	17,699
	久々野クリーンセンターごみ焼却施設の保守点検・整備	6,000	2,700	14,000	14,000	14,202	11,502
	ごみ焼却施設の管理運営	82,629	75,114	82,636	82,636	73,501	△ 1,613

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		190,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
285,960	216,936	216,936	△ 700	
89,418	92,320	92,320	6,000	
196,542	124,616	124,616	△ 6,700	
査定額	説明			
120,000				
14,000				
82,936				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ごみの焼却処理及び維持管理の実施 資源リサイクルセンター焼却日数 349日間 久々野クリーンセンター焼却日数 122日間 設備の点検整備による性能維持及びダイオキシン類濃度等の調査を実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、安全で適正なごみ焼却処理を継続して実施した。 焼却ごみ量に応じて2つの焼却施設の効率的な運転を行った。 老朽化している焼却施設の性能維持と延命化が必要である。 可燃性粗大ごみを適正に処理していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 焼却炉の更新を見据え、現施設の適切な維持管理と性能の維持を継続する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H28完了
- H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ごみの焼却処理及び維持管理を実施した。 資源リサイクルセンター焼却日数 338日間 久々野クリーンセンター焼却日数 151日間 設備の点検整備による性能維持及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、安全で適正なごみ焼却処理を継続して実施した。 焼却ごみ量に応じて2つの焼却施設の効率的な運転を行った。 老朽化している焼却施設の性能維持と延命化のために、長期修繕計画の見直し及び性能保証の延長が必要である。 可燃性粗大ごみを適正に処理していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 焼却炉の更新を見据え、現施設の適切な維持管理と性能の維持を継続する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- H29完了
- H30完了予定

施策の実施方針	・新ごみ処理施設の整備に関する施策を検討すること。
担当課 予算要求ポイント	・長期修繕計画に基づく焼却施設の維持管理
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおり

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	42220	ごみ埋立処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
				款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
				項	2	清掃費		施策概要	5	ごみの適正処理	
				目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画		
担当課	環境政策部 生活環境課		内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水処理施設の適正管理と臭気の発生防止などによる安全な埋立て処理を実施する。	概要	・廃棄物の埋立処理を実施する。 ・汚水処理施設を維持管理する。
----	---	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		H27			H28		
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		56,340	54,807	58,090	58,090	53,403	△ 1,404
特定財源	国費()						
	県費()						
	その他(使用料・手数料等)	26,012	27,610	26,012	26,012	26,575	△ 1,035
一般財源		30,328	27,197	32,078	32,078	26,828	△ 369
個票枝番	主な事業内容						
	埋立処分地の管理運営	46,840	45,422	49,440	49,440	46,234	812
	埋立処分地関連施設の整備	9,500	9,385				
	第1次埋立処分地跡地活用に向けた調査等			8,650	8,650	7,169	7,169

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額		47,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額-(c)	
74,365	66,340	66,340	8,250	
26,346	27,012	27,012	1,000	
48,019	39,328	39,328	7,250	
査定額	説明			
53,940				
12,400				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	・埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業の実施(310日) ・設備の点検整備及びダイオキシン類濃度等の調査を実施
評価等	・廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、臭気が抑えられ、ごみの飛散などがない、適正な埋立処分を実施した。 ・可燃性粗大ごみを破砕し焼却することにより、埋立量を減量して埋立地の延命化を実施した。 ・近年、災害で発生又は家庭や事業者から搬入された可燃性粗大ごみにより、埋立地に仮置きしている粗大ごみが増加している。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H28完了 <input type="checkbox"/> H29完了予定

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	・埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荏川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業を実施した。(310日) ・設備の点検整備及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。 ・第1次埋立処分地の跡地活用に向けた調査(ポーリング等)を実施した。
評価等	・廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、臭気が抑えられ、ごみの飛散などがない、適正な埋立処分を実施した。 ・可燃性粗大ごみを破砕し焼却することにより、埋立量を減量して埋立地の延命化を実施した。 ・近年、災害で発生又は家庭や事業者から搬入された可燃性粗大ごみにより、埋立地に仮置きしている粗大ごみが増加している。
次年度以降の考え方(担当課)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> H29完了 <input type="checkbox"/> H30完了予定

施策の実施方針	
担当課 予算要求ポイント	・埋立関連施設の適正な維持管理
財務部 査定の考え方	・積算内容を精査
市長査定の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(平成29年度予算、平成28年度決算)

事業名	42240 資源化推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	2	環境・景観	市長公約
			款	4	衛生費		個別分野	2	生活環境	
			項	2	清掃費		施策概要	4	循環型社会の構築	
			目	2	塵芥処理費		根拠計画	ごみ処理基本計画		
担当課	環境政策部 生活環境課	内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や事業所から排出されるごみの減量化及び資源化を図る。 排出された粗大ごみ等を再使用し、ごみの減量化を図る。 資源の循環により循環型社会の形成を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置に対し補助する。 粗大ごみ等のリフォーム及びリフォーム製品フェアを開催する。 ごみの出し方と分別及び資源化の啓発並びに資源ごみの集団回収の奨励を行う。 資源ごみの収集運搬選別及び施設の適正な稼働を行う。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	H27実績	H28実績	H31目標
家庭系ごみの資源化率	30%	30%	30%

2.事業の実施結果等(Do)

		H27			H28		
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		163,833	153,917	165,288	159,439	147,937	△ 5,980
特定財源	国費 ()						
	県費 (産業廃棄物立入検査事業費)	10	2	10	10	1	△ 1
	その他(物品売払収入等)	19,550	26,577	12,900	12,900	20,948	△ 5,629
一般財源		144,273	127,338	152,378	146,529	126,988	△ 350
個票枝番	主な事業内容						
	資源回収における奨励金	14,000	9,331	14,000	11,159	8,471	△ 860
	廃棄物資源化等委託料	130,945	127,951	133,000	129,992	122,722	△ 5,229
	生ごみ堆肥化装置設置補助金	1,000	164	1,000	1,000	149	△ 15
	資源リサイクルセンター施設維持管理	14,388	13,116	13,788	13,788	13,247	131
	粗大ごみリフォーム委託	3,500	3,355	3,500	3,500	3,348	△ 7

4.平成29年度予算編成(Action)

H29予算		実施計画額	167,000
要求額	財務部査定額	市長査定額	増減 査定額(-c)
187,709	160,778	160,778	△ 4,510
5	10	10	0
12,909	12,900	12,900	0
174,795	147,868	147,868	△ 4,510
査定額	説明		
12,000			
130,700			
1,000			
13,578			
3,500			

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.平成27年度事業実績、評価等(Check) H28.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置補助金を8件交付し、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発を実施 リフォーム製品フェアの開催 21回(支所開催含む)、542個販売 小型家電の収集及び処理施設(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)での受入(295 t) 資源回収事業での奨励金を79団体に交付 収集したごみの選別・圧縮・減容等による資源化及び拠点集積所の適正管理(52日開設)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみの分別収集運搬から選別保管までを委託し、効率化・省力化を図るとともに、ごみの減量化と再使用及び資源化の推進により、循環型社会形成に継続して努めた。 缶や不燃ごみから回収した鉄類などの有価物を売却し、財源の確保に努めた。 びん等の容器包装の軽量化や、集団資源回収量の減少などが見られる反面、小型家電の回収や民間事業者による資源物回収により、資源化率は維持されている。 リフォーム製品フェアの開催は高山地域及び全支所地域で行っており、一定の周知が図られている。 生ごみ堆肥化装置補助件数が減少している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化や資源化のため、生ごみ処理の推進や資源回収並びに分別等の啓発を継続して実施する。 不燃ごみから鉄類などを選別し、資源化することを徹底して実施する。 民間企業による資源物回収量の把握に努める。 市内全域でのリフォーム製品フェアの開催並びにそのPR活動を継続して実施する。 多様なリフォーム製品を揃えるなどにより、利用者の拡大を図る。

5.平成28年度事業実績、評価等(Check) H29.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置補助金を8件交付し、ごみの出し方と分別及び資源化の啓発を実施した。 リフォーム製品フェアを21回(支所開催含む)開催し、420個を販売した。 小型家電を収集し、処理施設(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター)で受け入れた。(212 t) びん等の容器包装の軽量化や、集団資源回収量の減少などが見られる反面、小型家電の回収や民間事業者による資源物回収により、資源化率は維持されている。 資源回収事業での奨励金を79団体に交付した。 収集したごみを選別・圧縮・減容等により資源化するとともに、拠点集積所を適正に管理した。(52日開設)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみの分別収集運搬から選別保管までを委託し、効率化・省力化を図るとともに、ごみの減量化と再使用及び資源化の推進により、循環型社会形成に継続して努めた。 缶や不燃ごみから回収した鉄類などの有価物を売却し、財源の確保に努めた。 びん等の容器包装の軽量化や、集団資源回収量の減少などが見られる反面、小型家電の回収や民間事業者による資源物回収により、資源化率は維持されている。 リフォーム製品フェアの開催は高山地域及び全支所地域で行っており、一定の周知が図られている。 生ごみ堆肥化装置の設置促進のため、H29年度からの補助対象者の見直しを行った。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化や資源化のため、生ごみ処理の推進や資源回収並びに分別等の啓発を継続して実施する。 不燃ごみから鉄類などを選別し、資源化することを徹底して実施する。 民間企業による資源物回収量の把握に努める。 市内全域でのリフォーム製品フェアの開催並びにそのPR活動を継続して実施する。 多様なリフォーム製品を揃えるなどにより、利用者の拡大を図る。

施策の実施方針	
担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみ堆肥化装置設置の促進 集団回収の奨励 日常生活から出される資源ごみの再資源化にかかる経費を計上

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに